

高松市立弦打小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

心豊かで たくましく よく学ぶ 子どもの育成
めざす弦打っ子 ～友だちといっしょに 元気に 運動に親しむ たくましい子～

【本校の課題】

- 新体力テストの結果において、全般的に男女とも全国・県平均を下回る種目が多い。
- 投運動に焦点化した安全運動委員会が提案している取組により、投げる機会を保障する場を設けたり、理想的な投げ方の提示を行ったりしているが、まだまだ継続する必要がある。

【現状】

休み時間に運動場に出て遊ぶ子どもが固定化されており、運動を楽しむ子どもとそうでない子どもの二極化が見られる。運動場で遊ぶ子どもは鬼ごっこやインサが多く、遊び方が固定化して、バランスよく体力向上につながっているとはいえない。

体力向上、運動に親しむ資質・能力の育成に関連する体育授業については、教師間・クラス間で指導内容の差が大きく、体育授業への関心や体力向上の必要感が高いとはいえない。

【取組】

安全運動委員会によるイベントの開催

子どもたちに問題提起をし、安全運動委員会でどんな活動をすれば、体力が向上するかを考え、昼休みや業間にできるイベントを計画、実施する。

環境整備

昼休みの運動場や体育館の使い方のきまりを設定し、ボール遊びや鬼ごっこで安全に遊べるようにする。また、今年度は、なわとび運動を柱に体力向上を考えるため、環境の整備を計画的に行う。

検討部会の設置

現職教育を2部会編成にし、心と体部会を設置し、子どもの体力向上や健康教育の在り方等について、検討する。検討したことは、共通理解・共通行動できるよう子どもの具体的な姿で示すようにする。

体育授業の充実

現職教育等で様々な領域の実技講習会を実施し、体育授業の充実を図るとともに、教師の体育授業の指導力の向上をめざす。

【目標】

- 業間や昼休みに、外遊びや運動遊びを楽しむ子どもをクラスの80%程度にする。
- 投能力やなわとびも含め、チャレンジカード等を活用して体力向上を図り、新体力テストの学校平均を向上させる。
- 豊富な運動遊びが将来の健康な生活につながることを考え、運動の重要性を共通理解した上で、教職員全員でたくましい子どもを育成する。